

受付ID	団体名	事業区分	主な活動地域	事業名	事業期間（始まり）	事業期間（終わり）	事業実施場所	対象者	事業概要	交付決定額（円）
34	社会福祉法人大東市社会福祉協議会	民間団体提案型事業	大東市内全域	空き家を活用した地域づくり事業「ごりようRiBBON」	令和8年4月1日	令和9年3月31日	ごりようRiBBON	●地域住民（当事者およびその家族、組織に所属していない住民） ●一般企業、社会福祉法人、NPO法人等の職員 ●民生委員児童委員、福祉委員、ボランティア団体連絡会所属ボランティア	市内4か所目の拠点として御領地区の古民家を活用した「ごりようRiBBON」を整備し、全世代が利用しやすい居場所と住民主体の支え合い体制の構築を目的とする。具体的には、地域住民や学生による「居場所」の開設、月1回のフードバンクを通じた困りごとの早期発見とアウトリーチ、地域イベントへの参画や空き家活用セミナーを開催する。また、CSWが常駐して制度の狭間にあるニーズに対応し、若年層や現役世代も気軽に立ち寄れる拠点をめざす。将来的にはこのモデルを府全域へ波及させ、公助に頼らない持続可能な地域福祉の実現を図る。	4,905,000円
37	社会福祉法人次方市社会福祉協議会	民間団体提案型事業	枚方市内全域	子ども・若者支援活動に関するコーディネート事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	大阪府枚方市上島東町14-1	市内で次世代育成支援（子育て支援、不登校児童生徒への支援、若者支援など）に取り組む団体や個人、市内で活動する学生ボランティアなど	地縁型子育て支援の不足や不登校児童生徒の増加による孤立化を防ぐため、テーマ型福祉活動団体による次世代育成支援の充実を図ることを目的とする。拠点施設「ひらブラ next smile」にて専用スペース（スクール、保育、スタジオ等）を貸し出し、コーディネーターを配置して団体の活動継続やネットワーク構築を伴走支援する。交流会やイベントを通じて団体間の協働を促進し、地域の子育て世代が多様なプログラムを享受できるプラットフォームを形成する。将来的には、子ども・若者が主役となるコースセンター的機能を持つ場への発展を目指す。	2,000,000円
38	特定非営利活動法人 Homedoor	民間団体提案型事業	大阪市北区を拠点に、大阪府下全域	若年層を中心とした生活困窮状態・ホームレス状態の人の生活相談及び就労相談事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	Homedoor事務所、アンドセンター、アンドベース	ネットカフェや安宿等を含む、広義のホームレス状態にある人近いうちに住居喪失をする可能性がある人や、事情により家に帰れない人。上記の内、特に若年層で就労に課題を持っている人	虐待や貧困などの「生育格差」によりホームレス状態となった若年層等が、希望する形で生活再建できるようワンストップで支援することを目的とする。夜回りやネット広告によるアウトリーチで潜在層にアプローチし、個室型シェルター「アンドセンター」（短期）や「アンドベース」（長期・最大2年）を提供して住まいを確保する。宿泊期間中に、専門相談員による生活相談、就労支援員によるキャリアカウンセリングや同行支援を行い、根本的な課題解決と自立を目指す。支援終了後も定期面談等でフォローし、再貧困化を防ぐセーフティネットを構築する。	5,000,000円
39	特定非営利活動法人NPOかんなびの丘	民間団体提案型事業	堺市・富田林市を中心とした大阪府全域	金銭管理サービス適正化普及事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	NPOかんなびの丘	施設等管理者・職員、施設入居者・その家族	施設等における金銭管理サービスが適正に提供される体制を構築し、利用者の権利擁護を図ることを目的とする。具体的には、有識者や施設関係者による「検討委員会」を設置し、昨年度までの調査結果を集約した「実施マニュアル（仮）」を作成する。これを基に、実際に施設での実証実験を行い、マニュアルの有効性を検証・整備する。また、専門家による「相談窓口」の開設や、「金銭管理コーディネーター養成研修」を実施し、現場の悩み解消と人材育成を行う。さらに、地域イベントへの出展や動画配信を通じた啓発活動を行い、社会的な理解促進と適正化モデルの大阪府全域への普及を目指す。	2,000,000円
40	特定非営利活動法人SKY	民間団体提案型事業	大阪府大阪市	中高年男性の孤独・孤立予防対策「男のセカンドキャリア塾」	令和8年4月1日	令和9年3月31日	大阪産業創造館	中高年男性	定年退職後などに「つながり」を失い孤立しやすい中高年男性を対象に、会社以外の居場所と新たな生きがいを見つけるための「男のセカンドキャリア塾」を開催するものである。具体的には、「セカンドキャリア形成」「コミュニケーション」「料理」「趣味」「自己内省」「地域参加」の6分野にわたるワークショップを実施する。講座内で自分自身を語る機会を設け、孤独に対するネガティブな認識を変容させるとともに、受講者同士の仲間づくりや地域活動への参加を促す。これにより、メンタルヘルス不調や引きこもりを未然に防ぎ、主体的に社会と関わる「自立したシニア男性」のモデルを構築する。	1,279,000円
42	社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	民間団体提案型事業	吹田市内全域	吹田市民生・児童委員協議会のICT化による担い手確保事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	吹田市社会福祉協議会	吹田市社会福祉協議会CSW、吹田市民生・児童委員	民生・児童委員活動の負担軽減と将来的な担い手確保を目的に、ICT（情報通信技術）の導入と定着を推進するものである。民生委員にタブレット端末等の活用を促し、連絡調整アプリ（LINE WORKS）を用いた情報共有や、活動記録のデジタル化、会議のペーパーレス化・オンライン化を進める。これにより、現役委員の事務負担を減らすとともに、働く世代や若年層が委員活動に参加しやすい「スマートな活動環境」を整備する。ICT活用に不安のある委員への研修も行い、組織全体のデジタルスキル底上げを図る。	3,083,000円
43	一般財団法人ヒューマンライツ協会	民間団体提案型事業	大阪府大阪市西成区	西成区3拠点連携による地域の孤独孤立防止のための居場所づくり事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	にしなり隣保館ゆ〜とあい	不登校を主とした学校に行きづらい小・中学生 外国籍・外国にルーツのある家庭 支援が行き届いていない高齢者・家庭	西成区内の3つの拠点（人権館、商店街カフェ、ウイング）を連携させ、地域全体で孤独・孤立を防ぐプラットフォームを構築することを目的とする。①「にしなり隣保館ゆ〜とあい」では高齢者のサークル活動、②鶴見橋商店街の空き店舗では若者の就労体験カフェ、③「にしなりWing」では多文化交流イベントを展開する。これらを有機的につなぎ、例えば高齢者が若者のカフェを訪れる、若者が高齢者に教わるなどの相互交流を生み出す。拠点間の連携により、支援の網が漏れやすい「制度の狭間」にある人々を早期に発見し、必要な支援へつなぐ。	4,316,000円
45	一般社団法人認知症予防活動コンソーシアム	民間団体提案型事業	大阪府大阪市、泉大津市、門真市など	スポーツ・コミュニティ・ファシリテーター養成プロジェクト～多世代共生インフラの構築～	令和8年4月1日	令和9年3月31日	泉大津市シーバスパーク他2拠点	認知症の今はもちろん未来にかかわる可能性のあるすべての方、リーダー候補（担い手）と一般参加者	誰もが楽しめるユニバーサルスポーツ（ミニらいとモルック等）を活用し、多世代・多様な属性の人々が自然に交流できる「居場所」を創出することを目的とする。スポーツを通じた場づくりを運営できる「スポーツ・コミュニティ・ファシリテーター（モルバ・キャプテン）」を養成し、商店街や百貨店など日常的な場所でも月例イベント「モルバ」を開催する。楽しみを入り口にすることで無関心層を巻き込み、顔の見える関係を構築する。さらに大規模イベント「オレンジリンピック」等の開催を通じて、インクルーシブな地域共生文化を府内に定着させる。	5,000,000円
46	公益社団法人認知症の人と家族の会 大阪府支部	民間団体提案型事業	大阪府大阪市、堺市、泉佐野市、八尾市、茨木市、枚方市など	認知症の本人による活動の創造 ～認知症とともによりよく生きる～	令和8年4月1日	令和9年3月31日	地域の会館、社会福祉施設、協力先の団体等	認知症の本人、その家族、支援する専門職、行政、関係機関・団体、ボランティア、地域団体、地域住民 など	認知症の本人が仲間と交流し、自分らしい希望を実現する活動を通じて、地域に「新しい認知症観」を根付かせ共生社会の実現を目指す事業です。2年目の本年度は広域的な連携を強化し、本人の思いを可視化する「希望をかなえるヘルパカード」の作成と普及に注力します。具体的には、野菜マルシェやカラオケを取り入れた交流会での仲間づくりをはじめ、本人と支援者が協働するカードの街頭実践、ピアサポート活動の組織化、シンポジウムでの成果発信を実施し、認知症でも安心して暮らせる地域モデルを構築します。	2,233,000円
47	特定非営利活動法人就労・生活・まちづくり支援機構	民間団体提案型事業	大阪府八尾市	大阪東部ピア協働型・多文化就労準備支援モデル事業～アジアнкаフェ就労訓練とZINE発行による広域的地域共生の実装～	令和8年4月1日	令和9年3月31日	①八尾市立安中人権コミュニティセンター調理室・和室／②レンタルスペースカフェふらここ	大阪府内に居住する孤立状態にある当事者（若年～中高年）、ひきこもり状態の人、家族/支援者（地域の支援機関・民間団体・自治体福祉部署）、既存制度だけでは支えきれない制度の谷間にある相談支援ニーズを持つ層、多文化就労に関心のある当事者、学生、ピアサポーター等	大阪東部において、若年～中高年のひきこもり・孤立当事者を対象とした「多文化就労準備支援モデル」の構築を目指す。夜間支援の不足や支援中断率の高さといった課題に対し、相談支援や孤立を軽減する「夜間ピア交流」を実施する。また、多文化共生をテーマとする「アジアнкаフェ」での就労訓練や、当事者が企画・編集する冊子「ZINE」の発行・配布を通じて、自己効力感の向上と地域への啓発を図る。これらにより支援継続率と社会参加を促進し、2027年度の就労継続支援B型事業所設立に向けた持続可能な支援モデルを確立する。	3,895,000円
48	NPO法人市民ネットすいた	民間団体提案型事業	北摂地域	地域における外国人住民のボランティア活動促進事業～外国人住民の地域活動を支えるボランティアプログラム構築とコーディネーター養成～	令和8年4月1日	令和9年3月31日	ラコルタ、TONPAL、かがやきホール、池田市ダイバシティセンター、CANVAS谷町	1.隣域住民および外国人住民 2.隣域福祉、多文化共生、まちづくりなどに携わる支援者や関係機関	地域で暮らす外国人住民を「支援される側」から「地域づくりの担い手」へと転換し、共にまちづくりに参画できる仕組みを構築することを目的とする。外国人住民と地域団体（自治会等）が協働する「ボランティアプログラム」を開発し、言葉や文化の壁を越えた活動機会を創出する。また、両者の間をつなぐ調整役となる「ボランティアコーディネーター」を養成するためのテキスト作成や講座を行う。お互いの偏見を解消する「マイクロアグレッション研修」も実施し、外国人が地域社会の一員として活躍できる多文化共生社会の基盤を作る。	5,000,000円
49	公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会	民間団体提案型事業	大阪府内全域（大阪市、堺市を含む）	だいかれん”輪をひろげる”プロジェクト	令和8年4月1日	令和9年3月31日	公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会	従来の地域家族会ではつながりにくい家族、特に配偶者・パートナー、きょうだい、子どもの立場の家族（以下 様々な立場の家族） 地域の精神障害者の支援者	精神障害者の家族の中でも、親に比べて支援につながりにくい「配偶者・パートナー」「きょうだい」「子ども」の立場にある家族を対象に、孤立防止と支援拡充を図るものである。既存の家族会ではカバーしきれていないこれらの層に対し、より身近な地域（4か所予定）で「学習交流会」を開催する。また、SNSを活用した情報発信とオンラインコミュニティの創設により、若い世代や多忙な家族もアクセスしやすい環境を整える。「配偶者の集い」「きょうだいの集い」等の運営も強化し、多様な家族が安心して語り合えるネットワークを構築する。	3,175,000円
50	特定非営利活動法人育て上げネット	民間団体提案型事業	大阪府大阪市	高校内居場所カフェと校外居場所（ユースセンター）を通じて困難を抱える高校生等の若者をネットワークで支える事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	①大阪府大阪市阿倍野区 ②大阪市天王寺区③大阪府大阪市北区東天満	困難を抱え、家庭や学校外の居場所を必要とする10代の若者／支援上の課題を持つ生徒を抱える高校教員	家庭や学校に安心できる場がない高校生・若者に対し、学校の内と外をつなぐ重層的な支援体制を構築することを目的とする。具体的には、定時制高校等で「校内居場所カフェ」を定期開催し、生徒と早期に関係を築く。同時に、校外の「ユースセンター」を通年・終日運営し、学校では対応しきれない深い相談や、卒業・中退後の継続的な支援を行う。校内と校外（地域）の接続により、孤立を防ぎ、適切な社会資源（医療・福祉・就労等）へつなぐ「セーフティネット」を機能させる。	4,648,000円
53	特定非営利活動法人みらいず2	民間団体提案型事業	大阪市住之江区 大阪府堺市 大阪府高槻市	学童を起点とした円卓型連携によるこども包括ネットワーク深化事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	特定非営利活動法人みらいず2	ひとり親であることやこどもの発達特性などの理由により既存の支援につながる事が難しい親子、地域の教育、福祉等とともに関わる機関、民生児童委員等を含む地域住民の支援者。	大阪市住之江区において、既存支援に繋がりにくい親子（ひとり親、不登校、発達特性等）を対象に、「学童」を起点とする地域支援体制「こども包括ネットワーク」の深化を目的とする。同区の母子家庭の孤立等の課題に対し、学校・学童・地域・行政が連携し、中学校区規模の「面」で支える仕組みを構築する。具体的には、障がい児相談支援事業所を事務局とし、子どもの居場所を窓口にご相談を受け付け、円卓会議を通じて適切な社会資源へ繋ぐ。これにより、地域に「一緒に子育てできる他人」を持ち、親子の孤立を防ぎ健やかに生活できる環境を実現する。	5,000,000円
54	特定非営利活動法人ディーセント・ファーム かしわら	民間団体提案型事業	大阪府柏原市、八尾市、東大阪市など	農作業を通じた重層的な支援を要する人々の活動拠点づくり	令和8年4月1日	令和9年3月31日	ディーセント・ファーム かしわら 農園	障がい者、引きこもり、がん患者、認知症高齢者など	障がい者や引きこもり、がん患者、認知症高齢者など重層的な支援を要する人々が、農園で笑顔で働き過ごせる地域社会の実現を目的とする。長年放置された農地を「ユニバーサル農園」として再生し、居場所や交流拠点の整備を進めてきた。今後はさらに、デイケアセンターと連携した認知症高齢者向けの園芸療法や、小学生等を対象とした農作業体験・自然環境教室を実施し、多世代交流の場を創出。参加者の心身の健康増進と役割創出を図る。将来的にはレストラン運営による収益確保や雇用就労支援へ発展させ、持続可能な地域共生モデルの構築を目指す。	5,000,000円